



竜王山の桜（撮影；竹岡臨床検査技師）

今年、小野田赤十字病院は創立 80 周年を迎えました。その歴史の中でも、最も大きなものの一つに、昨年の東日本大震災での救護活動があります。しかし、桜は今年も咲くように、一日も早くもとの生活に戻れるよう祈願するとともに、私たちにできることを協力していきたいと思えます。

病院の理念

- (1) 私たちは、「人道・博愛・奉仕」の赤十字精神を基本に生きていることの価値と喜びを追求する病院づくりをします。
- (2) 私たちは、思いやりの心を忘れず、皆様の健康へのみちを全力で支援します。
- (3) 私たちは、地域に貢献し、安心と信頼が得られる社会をめざします。

基本方針

- (1) 患者さまならびに職員の生きがいを尊重し、権利を擁護する。
- (2) 患者さまのプライバシー保護に努める。
- (3) 療養病棟では、高齢・認知症・難病等の患者さまに配慮する。
- (4) 医療社会事業を通じて、地域住民の皆さまの健康づくりを支援する。
- (5) 「健診・救急・高齢者医療」を三本柱とし、地域の保健・医療・福祉機関との連携を推進する。
- (6) 医療の質の向上と安全管理に努め、全人的医療をめざす。
- (7) 医療記録を適正に管理し、規定にしたがって開示する。

小野田赤十字病院は、創立80周年を迎えました！

創立八十周年を迎えて

院長 水田英司

当院は、昭和7年に結核療養を目的とした日本赤十字社山口支部の臨界療養院として産声を上げました。以来、この地において地域住民の方々の健康をお守りするのみならず、「赤十字」の精神を全うするべく努力して参ったところであります。こういった発展の背景には、歴代の院長先生をはじめ多くの医療スタッフやコ・メディカルの皆さん、さらには地域のボランティアの皆さん方のご支援のおかげであり、あつく御礼申し上げます。

さて、八十年という節目を迎えるにあたり、今一度初心に帰って当院の役割を考えてみたいと思っております。

ご承知のように、「赤十字」の役割といえば人道・博愛・奉仕を基本原則として、私たち赤十字病院が行っている医療活動のみならず国際活動・災害救助等の重大な使命が課せられています。赤十字の組織にある限り、この使命に背を向けることは出来ません。昨年三月に発生しました東日本大震災におきましても震災直後より医療救護班をはじめ看護・介護あるいは被災された方々の心のケアに数回にわたり職員を派遣いたしました。お亡くなりになられた方々にはお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々や町の日でも早い復興をお祈りいたします。

つぎにもう一つの役割ですが、「小野田赤十字病院の理念」に則った役割を忘れてはなりません。すなわち、職員ひとりひとりが自分の生きていることの価値を追求し、働くことの喜びが感じられる病院にしたいという気持ちを持ちながら、当院の診療の三本柱である「健診・救急・高齢者医療」という方針からぶれることなく患者さんの気持ちになって、ともに病気と闘い、そして私たちの持つ医療技術を駆使して健康をお守りするだけでなく、安心できる地域づくりに貢献するという役割を持っています。今日の厳しい医療情勢の中、ともすると気持ちが挫けそうになることもありますが、全職員が一丸となって連携し各部署の壁を取り払って前進すれば、これらの役割を十分に果たせるものと信じています。八十年の節目を迎えて職員の方々は当院に課せられたこれらの役割のひとつひとつをどうぞ忘れることなく日々努力を続けていただきたいと願っております。

最後になりますが地域の皆さんをはじめ、ボランティア活動等で小野田赤十字病院に関係する方々には今後ともご支援・ご指導をよろしくお願い致しますとともに、今後ますますの小野田赤十字病院の発展をお約束しましてご挨拶いたします。

小野田赤十字病院創立80周年記念式典



平成24年3月26日、小野田赤十字病院大会議室にて、「小野田赤十字病院80周年記念式典」が行われ、長年にわたり当院へのボランティア活動をされている33の団体・個人の方へ感謝状を贈呈いたしました。

ボランティアの方々の活動紹介のあと、日本赤十字社山口県支部 藤田事業推進課長の講演が行われました。東日本大震災の際現地で活動を行った体験談等だけでなく、今後起こりうる災害に備えた話など、非常に興味深い講演でした。

これからも、地域やボランティアの皆様とともに、小野田赤十字病院は歩んでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



小野田赤十字病院が行っている非常時に備えた訓練などについて

1. 緊急時の対応訓練

当院では患者様の生命と安全を守るために、急変時に素早く的確に対応できるように、毎年緊急時の対応訓練を行っています。今年は、2月29日に3病棟で、食事中に食物が喉に詰まったという設定で訓練を行いました。



まず、意識を確認後、応援を呼び吸引します。救命処置ができるようベッドをギャッジダウンし、柵を外しエアーマットの空気を抜きます。その後、呼吸、脈拍を確認します。



当院は療養病棟、老人保健施設があり、看護職・介護職が協力して一次救命処置（胸骨圧迫、バッグマスク換気）を行います。胸骨圧迫は1分間に100回のテンポで胸骨が5cm沈み込む強さで圧迫します。

その後、当直医師、看護師が応援に駆けつけ、医師の指示のもと、除細動（電気ショック）を行います。

今回の訓練では、看護・介護職それぞれが自分の役割（連絡・応援を頼む、一次救命処置を行う、時系列に記録をとる等）を理解し、連携して実施していました。今後も緊急時の対応訓練を積み重ね、安全・安心な医療提供につなげていきたいと思っております。

2. 赤十字救急法基礎（AED）講習

当院の全職員が、赤十字の講習を理解し、AED（自動対外式除細動）の有資格者となり、いざという時の救命に当たれるように、毎年有効期限が切れる職員と受講していない職員を対象に赤十字救急法基礎講習を行っています。今年は3月14日に行いました。



看護職員・介護職員だけでなく、コ・メディカルや事務系職員そして院内保育園の保育士も受講しました。まずは講義を受け、実技を行います。講習終了後に学科・実技の検定があるため、皆真剣に行いました。

また、AED本体そのものも、定期的に検査をし、実際に必要になったときにきちんと使用できるよう管理をしています。

また、AED本体そのものも、定期的に検査をし、実際に必要になったときにきちんと使用できるよう管理をしています。

3. 防火訓練

当院では、年に2回防火訓練を行っています。本年度2回目は3月21日に行いました。

今回は、平日昼間の火災を想定し、日勤者での（模擬）通報、消火、避難、安全防護訓練を行いました。病院や老健特有のものとして、重症患者や歩行不能患者・入所者の方々がいることです。そのため、職員による模擬患者のベッド及び車椅子等による避難誘導訓練も行っています。

その後、新入職員中心に消火器・屋内消火栓の使用講習と実技を行いました。

このような訓練が役に立つとき、それは、事が起こったとき。そのため、これらの訓練が実践にならないのが一番です。しかしながら、いざ事が起こったときすぐに対応するためにも、定期的に訓練することが必要です。

教えて小野田赤十字病院のこと

第12回は、検査室よりお知らせです。

HbA1cの検査値がJDSからNGP値へ?????

糖尿病は、患者数が急増している生活習慣病です。

糖尿病の診断や治療をするときに重要で有用な検査に、HbA1c（ヘモグロビン エイ ワン シー）という検査があります。血糖値は今の血糖の様子を知ることができます。HbA1cは、過去約1~2ヶ月の血糖の平均を見つける検査値です。糖尿病の特徴である【慢性的な高血糖】を数値で見える検査です。

今年4月からHbA1c(NGSP)値が使われます。今までと違うのは？
今までより約0.4%数値が高くなります。基準値も今までの6.1%より0.4%高くなり、6.5%になるということです。当院において報告書には、今までと同じHbA1c(JDS)と新しいHbA1c(NGSP)両方を報告します。



糖尿病で通院されているや健診などで指摘された方などにはおなじみのHbA1cですが、分からないこと不安なことがありましたら、いつでも外来の看護師に相談してみてください。

認定看護師だより

今後、摂食・嚥下障害看護認定看護師がスタッフにと求めていくこと、又、スタッフに答えていく課題は何でしょうか？

病院や病棟内でどのような活動を主にしてほしいか知りたいと思います。それらに対し、各病棟毎へ求められる内容に関して知識や技術の伝達を行い、摂食・嚥下に対して興味もってもらいたいです。そして一人でも多くの患者様が『口から食べる』ということが続けていく体制ができることが望みです



ひな祭り



3月3日は雛祭りでしたね。雛祭りの由来は古代中国の上巳節（季節や物事の節目には災いをもたらす邪気が入りやすいと考えられており、川の水に心身の穢れを流して厄を払ったり、杯を水に流して宴を催すなど行事）と言われています。それに加え、桃には邪気をはらう力がある、また不老長寿を与える植物とされていました。そうしてみると、この日は女の子のみならず人々の幸せを願う日だともいえます。



3病棟にも立派な雛壇が飾ってあり、そこで患者様と一緒に雛祭り会を行いました。男雛と女雛に仮装した職員とともに歌を唄ったり、お菓子を食べてたりして楽しいひと時を過ごされていました。





外来診療担当医表

(都合で交代・休診することがあります。ご了承下さい。)

平成24年4月

4月 行事予定

診療科(受付時間)		曜日	月	火	水	木	金
			月	火	水	木	金
内科	8:30~	1診	中邑 友美	中邑 友美	中邑 友美	野垣 宏	中邑 友美
	11:30	2診	第1・3・4 川井 元晴 第2 島袋 明子	和田 一成	江本 政広	和田 一成	島袋 明子
外科	8:30~11:30		亀井 滝士	佐藤 智充	水田 英司	佐藤 智充	亀井 滝士
皮膚科	13:00~14:45			武藤 正彦			
	13:30~16:30						浪花/中村
神経内科	14:00~16:30		第2 川井 元晴				
	14:00~15:30						野垣 宏
神経科	8:30~11:30					秋元 隆志	
眼科	8:30~11:30			萩田 勝彦			萩田 勝彦
整形外科	15:00~17:00		4月4日(水)、12日(木)、19日(木)、26日(木)				

5日 お花見(5日~13日)
(老健)

10日 赤報会活動日

11日 移動図書館
吟剣詩舞道静炎会
(老健)

19日 誕生日会 (老健)

25日 マジックショー(老健)



先月のボランティア(2月21日~3月20日)

2月14日 小鳩会(民生委員ボランティア)(3名) 3月12日 小鳩会(封筒作り) (4名)
2月15日 鼓楽の会(銭太鼓) (10名) 3月14日 大石 寛(クラシックレコード鑑賞会)

毎週ボランティア 一樹会 (約10名)

ボランティアの皆様、ありがとうございました。

*** 編集後記 ***

- ・錦帯橋・吉香公園の帰り道、JR岩徳線に乗ってみようと近くの駅へ。吹雪の中を1時間待ち、乗ってみたら逆方向。ローカル線の無人駅で線路1本しかないのに乗り間違え。今年1番寒かった。 益成
- ・やっと春が来た感じ♡少しは心もはなやぐかな? 竹岡
- ・竜王山の満開の桜が楽しみです。 坂本
- ・何ヶ月も前に借りたゲームまだ袋からも出してない、そろそろS氏に怒られそうだ! 小林
- ・He who makes no mistakes makes nothing. M. S
- ・毎年、この季節になると花粉症にやられています。鼻が…痛いです。 有間
- ・いろいろな変化があるこの季節。自分の周りでもいろいろと変化があつてます。変化がないのは自分だけ? 大貫

今月の料理

春のお粥(あさりと菜の花)

◆材料◆

作り方



素材	分量
あさり	300g
菜の花	50g
米	1合
水	600ml
塩	少々

- ① あさを茹でる。
- ② 菜の花をやや硬めに茹でる。
- ③ 米と冷やしたあさりの茹で汁200mlと水600ml、茹でたあさりの身を鍋にいれ炊く。
- ④ 茹でた菜の花を炊飯器に入れて蒸す
- ⑤ 塩で味を調える。

～あさはミネラル豊富で味わい豊か～

あさは鉄分やタウリンなどミネラルが豊富な貝です。また旨みがぐっとでる食材なので、お粥や汁もので旨みを活かしておいしく摂取しましょう。

ゴールデンウィーク中の休診のご案内

4月29日(日)	4月30日(月)	5月1日(火)	5月2日(水)
休診(昭和の日)	休診(振替休日)	休診(創立記念日)	通常通り
5月3日(木)	5月4日(金)	5月5日(土)	5月6日(日)
当番医(憲法記念日)	休診(みどりの日)	休診(こどもの日)	休診

ただし、急患はこの限りではありません。

～義援金受け付け延長のお知らせ～

昨年3月11日に発生した東日本大震災から、1年以上になります。復興にはまだまだ時間と費用がかかるため、義援金の受け付けの締め切りが、9月30日までに延長されました。今までと同様に、振り込みまたは支部や病院の義援金箱で受付をいたします。

引き続き皆様のご理解とご支援をお願いいたします。



ベッドの贈呈式の様子

ORC (オー・アール・シー) 2012年4月号

平成24年 4月 1日 発行

発行所 山陽小野田市大字小野田字植松3700

小野田赤十字病院

発行人 水田 英司